

事務事業名		大船渡市水道事業運営審議会開催事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備						水道	01	01	04	
根拠法令		大船渡市水道事業運営審議会規則										
所属	部課名	水道事業所				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和49 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	中井 吉隆										
	係 名	庶務係		電話	0192-27-3111							
	担当者	松川 伸一		内線	173							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
本事業は、水道事業の基本計画、条例の制定又は改廃、料金及び予算決算に関すること等について、審議会を開催して調査協議し意見を徴する事業である。 委員は10人(学識経験者3人、水道使用者7人 ※H24.10.1～)で任期は2年。審議会は、通常年2回程度開催する。 主な業務は、委員の委嘱、連絡調整、各種資料等の作成である。 事業費は、委員報酬及び費用弁償である。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金				
								都道府県支出金				
								地方債				
								その他				
								一般財源				
								事業費計 (A)		0		
								人件費	正規職員従事人数			
延べ業務時間												
人件費計 (B)		0										
トータルコスト(A)+(B)		0										

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 水道事業会計の決算、予算及び新たな中期経営計画案を協議するため、審議会を3回開催した。					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称				単位	
					ア	審議会開催回数			回	
					イ					
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 2回開催予定。決算の概要、収納状況、予算案及び中期経営計画の目標値設定案等について、委員から意見を徴する。					ウ					
					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					名称				単位	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 水道事業運営審議会委員(平成24年度に定員12人から10人に改正)					カ	審議会委員数			人	
					キ					
					ク					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 水道事業の運営について、意見や提言をしてもらう。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称				単位	
					サ	委員の意見、提言等数			件	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 水道事業の円滑な運営が図られ、安全・安心な水道水が安定して供給される。					シ					
					ス					
(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	単位							
		国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	61	162	161	120	120	120	
		事業費計(A)	千円	61	162	161	120	120	120	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	
		延べ業務時間	時間	70	100	70	70	70	70	
		人件費計(B)	千円	280	400	280	280	280	280	
トータルコスト(A)+(B)		千円	341	562	441	400	400	400		
⑤活動指標			ア	回	1	3	3	2	2	
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	12	10	10	10	10	
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	件	10	20	20	10	10	
			シ							
			ス							

事務事業ID	0314	事務事業名	大船渡市水道事業運営審議会開催事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
水道事業の円滑な運営を図るため、昭和49年10月に設置。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
以前は、主に水道の面的整備についての審議がなされたが、近年は、それに加えて、水道の普及促進や水圧改善等の質的向上に係る審議も多くなっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
審議会委員から委員の一部を公募すべきとの意見があり、平成21年度以降、水道使用者委員を公募(女性1～2人)している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 水道事業への意見、提言をしてもらうことで事業の円滑な運営が図られ、市民に安全・安心な水道水が安定して供給される。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 市の水道事業に係る審議会であるため、市が行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図ともに妥当であり、限定・追加等の必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 審議会委員が大幅に交代し、審議事項の趣旨や内容が十分に伝わっていない状況が散見される。説明の方法や資料調製の方法等をさらに検討していく余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 審議会委員との協議及び意見聴取等場がなくなり、適切な事業運営に支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 現状では他の手段は考えられない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 委員報酬と費用弁償のみであり、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 会議資料の作成及び開催に係る人件費であり、これ以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 最終的には水道料金に転嫁されており、適正である。

事務事業ID	0314	事務事業名	大船渡市水道事業運営審議会開催事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 審議会は、中期経営計画案を中心に3回開催し、委員からは、活発に質疑や意見等がなされたが、特定の委員からの発言に偏るなどの傾向があった。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 審議会委員からの意見、提言の充実を図り、水道事業の円滑な運営を図るため、審議事項の説明や資料調製の方法、審議会の回数等について検討する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	水道事業所長	中井 吉隆

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 審議会の一層の活性化を期するため、審議事項の趣旨や内容を十分に検討する必要がある。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 審議会委員から活発な意見、提言等頂くため、審議事項の説明や資料調製の方法等について検討する。																					
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
